

事業名：戦没者追悼式経費

福祉課 地域福祉係

政策	99 政策の総合推進							
施策	05 施策の総合推進その5							
基本事業	01 施策の総合推進その5							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
戦没者遺族・市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
追悼式典の開催 献花、黙祷、弔辞	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
戦没者の追悼、恒久平和の誓い	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	遺族の人数	人	135	126	123	200
対象指標2						
活動指標1	案内状発送件数	件	244	242	233	300
活動指標2						
成果指標1	遺族出席者数	人	83	73	74	73
成果指標2						
事業費(A)		千円	482	446	453	519
正職員人件費(B)		千円	1,605	1,603	1,563	1,565
総事業費(A+B)		千円	2,087	2,049	2,016	2,084

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	戦没者追悼式の開催（黙とう、追悼の辞、献花）	会場使用料 81千円 祭壇設置 47千円 祭壇装飾 200千円 花束、花籠、献花 96千円 追悼の碑塗替、文字揮毫 26千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化
戦後半世紀以上が過ぎ、戦後生まれの市民の関心は年々低下している一方、戦前・戦中生まれの方には、年に一度の意義深い式典となっている。全国的には、市町村レベルで講演会等の平和フォーラムに置き換えているところもある。国からは、毎年終戦記念式典の開催を求められている。

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 <p>全市的に戦没者追悼と平和の誓いを行う唯一の式典であり、市以外で行うことはできない。 また、国から国施行の追悼式にあわせて何らかの行事实施を要望されている。</p>
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input type="checkbox"/> 貢献度大きい <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 <p>参加遺族は年齢から減少に向かうと思われる一方、平和への誓いといった将来に向けての意義はある。</p>
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 <p>参加遺族は年齢から減少に向かうと思われるが、遺族の方にとっては亡くなった方へ思いを馳せる大切な儀式であり、その点から成果があると考えます。また、この式を公に行うことで、戦争という歴史の重みを忘れずに各々が考える機会にもなっていると感じる。</p>
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 <p>成果を測ることは難しい。</p>
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠 <p>経費のほとんどが、祭壇・会場関係経費である。</p>